

姫路版スマートシティ事業（抜粋）

令和7年11月20日 令和7年度 第2回姫路市官民データ活用推進会議

令和6年度の取組

- 動画授業、AIドリル、オンライン授業等のコンテンツを通じて、子どもたちの学力や興味に応じた個別最適な学びをサポートするメタバース型のオンライン学習プラットフォーム「魔法スクール姫路城」を構築
- 令和7年1月27日から利用開始。市立中学校5校において先行導入
- 生徒が学校で配布されている端末、パソコンやタブレット、スマートフォンから利用可能
- 「エントランスゾーン」、「学習ゾーン」、「コミュニケーションルーム」、「イベントホール」の4つのエリアを配置
- 学習コンテンツは、リクルート社のオンライン学習サービス「スタディサプリ」（動画授業・AIドリル）をメインコンテンツとして設置し、生徒の当該コンテンツの利用状況に応じてポイント付与

令和7年度の取組

- 新たなコンテンツの設置やイベント開催を検討、順次実施中
- 5月19日から、市立中学校等全37校（中学校33校、義務教育学校（後期課程）3校、特別支援学校1校）に利用拡大

アクセス方法

- 指定のリンクにアクセス
- 「Googleでログイン」を押す
※学校配布のアカウントでログイン



- 「魔法スクール姫路城」エントランスへ
※自分のアバターで利用開始



エントランスゾーン

姫路城をモチーフにした「魔法スクール姫路城」を配置したエリア。
学習プラットフォームに入ると、このエリアにユーザーごとのキャラクターが配置され、利用開始。
このエリアから他のエリアへ移動可能。
使い方やルールなどを掲載。



学習ゾーン

学習プラットフォームのメインコンテンツである「スタディサプリ」へアクセスすることが可能。
さまざまなテーマに沿ったクイズに挑戦できる
クイズルームを用意。
今後、コンテンツを拡充していく予定。



コミュニケーションルーム

利用者同士等のコミュニケーションを目的としたエリア。
少人数でのオンライン授業や個別の相談が実施可能。
夏休み・冬休みに、ALTによるオンライン英会話教室を開催。



イベントホール

学習プラットフォーム内の利用者が集まって、学びにまつわるイベントに参加し、楽しむエリア。
講演やセミナーのほか、発表会などのイベントを開催する予定。



令和8年3月リリース予定

令和7年9月リリース済み
(ひめじしらさぎ商品券事業)令和8年2月リリース予定
(姫路城及び周辺施設のデジタルチケット)

デジタル市民証

市民であること + 必要な資格・属性を証明することで財（サービス）を取得する仕組み

- ・ターゲット
市民
- ・想定されるサービス
どんぐりカード・高齢者福祉優待カード・図書カード等のデジタル化、市民向けイベント・避難所等のチェックイン
- ・市民への裨益効果
市民であることを前提とした行政サービスへのアクセス性向上



構築作業中

商品券型汎用給付システム

チャージした残高を消費することで財（商品・サービス）と交換する仕組み

- ・ターゲット
市民
- ・想定されるサービス
プレミアム付き商品券、子育て応援給付、地域通貨など
- ・市民への裨益効果
用途が広い（現金給付に近い）給付へのアクセス性向上

※ ひめじポイントとの連携も想定



入場券型汎用給付システム

チケット・クーポンを消費することで財（商品・サービス）と交換する仕組み

- ・ターゲット
市民及び市外住民（訪日外国人含む）
- ・想定されるサービス
観光施設・イベント等への入場チケット、体験チケット、店舗クーポンなど
- ・市民への裨益効果
用途が限定される（現物給付に近い）給付へのアクセス性向上
- ・市外住民への裨益効果
観光体験の向上



構築作業中



各給付サービスへワンストップでアクセス／資格情報を連携

市民ポータル（xIDアプリ）

共通のデジタルIDを
利用

市民

LPサイト

市外
住民

xIDアプリ



住むほどに
好きが深まる
姫のまち